# 音更町長に山口氏再選

## 市川氏に1万票の大差

管内市町村長らの祝福を受ける山口氏（1日午後10時半すぎ）

【音更】任期満了に伴う音更町長選挙は一日投開票が行われ、現職の山口武敏氏(六二)＝無所属＝が一万四千六百五十一票を獲得、新人で英語塾経営の市川好裕氏(五四)＝同＝に一万八百二十五票の大差をつけ圧勝、再選を果たした。（2、21面に関連記事）

**開票結果**

当14,651　山口武敏　61　無現
3,826　市川好裕　54　無新

当日有権者30,840　投票総数18,760　有効投票数18,477　無効票など283　投票率60.83％

山口氏は民主党音更、佐々木恵美子道議後援会、連合音更、道商工政治連盟音更支部の推薦を得たほか、共産党と一部保守系議員を除く二十一人の町議が支援する会を立ち上げるなど超党派の支援体制を構築。全町的に組織された四十四の地区後援会が運動をけん引した。

選挙期間中は、自ら策定にかかわった第四期総合計画を基本に、「町民とのパートナーシップによるまちづくり」を政治理念として強調。産業基盤の強化と企業誘致による雇用創出が財政健全化につながるとし、町民との協働と地域経済活性化を目指す姿勢が農業、商工業、建設、婦人、青年など幅広い層に受け入れられた。

住民要望が高かった図書館や温水プール建設、開町百年記念事業、第四期総合計画策定、ＩＣ工業団地造成、コミュニティバス運行、人口四万人達成など堅実な行政執行と、分け隔てのない庶民的な人柄も評価された。

前回選挙で約九千六百票を獲得した佐藤英氏＝現町議＝支持票の一部取り込みにも成功、前回票（一万五百三十四票）の上積みを果たした。

市川氏は、日本共産党音更町委員会ら十団体で組織する「住みよい音更町をつくる会」の要請を受け、二月一日出馬表明。借金増に伴う財政問題や公共事業優先の現町政を厳しく批判。福祉や教育、くらし重視の独自の政策を訴え、前回の得地三郎票を倍増させたが、無党派・保守層への大きな支持の広がりを得るまでには至らなかった。

山口氏の選対本部（木野大通西六）では、午後十時十分の開票速報で一万四千三百票と発表され、塚本勧選対本部長が勝利宣言。山口氏は「みなさんの汗の結晶で勝利できた。投票率六〇％強というのは、訴えがまだまだ少なかったと反省している。これからはまちづくりに、音更町発展のため、四万町民の幸せと豊かさを求めて目いっぱい働いていきたい」と抱負を述べた。

**投票率　戦後最低60・83％**

投票率は六〇・八三％で、四年前の前回（七四・五八％）を二三・七五ポイント下回り、戦後最低だった一九九四年の六九・四八％を七年ぶりに更新した。男女別では男性が六〇・三七％、女性が六一・二四％。

当日の有権者数は三万八百四十人、投票者は一万八千七百六十人。有効投票数は一万八千四百七十七票で、無効票二百八十三票のうち白票が百四十一票、持ち帰りが二票あった。

やまぐち・たけとし　一九四〇年、本別町勇足生まれ。帯広柏葉高校定時制卒。六一年四月音更町役場入り。広報広聴課長、企画課長、市街地開発推進室長、振興部長を経て、九七年四月の町長選に立候補、初当選。

## 中山間地直接支払

## 6町村で2万7千ヘクタル余

### 管内の対象　交付総額は4億円

「中山間地域等直接支払制度」（二〇〇〇―〇四年度）で、十勝支庁はこのほど、該当する六町村（足寄、大樹、浦幌、豊頃、陸別、忠類）の対象面積などをまとめた。管内では最終的に二万七千五百ヘクタル余りの農地が対象となり、交付金総額は四億円を超えた。農村環境美化、農作業受委託事業などに活用される。

十勝で該当する農地の内訳は、足寄八千八百三十七ヘクタル、大樹八千二十ヘクタル、浦幌千七百二ヘクタル、豊頃八百五十九ヘクタル、陸別五千八十一ヘクタル、忠類三千十七ヘクタル（いずれも草地）。大樹、陸別、忠類は全町の草地が対象、足寄は一部地域を除外、豊頃と浦幌は旧大津村エリアとした。

交付金は草地の場合、一ヘクタル当たり一万五千円（国が二分の一、道と地元自治体は四分の一ずつ負担）。今年度の交付金額は足寄一億三千二百五十一ヘクタル、忠類三千十七ヘクタル、大樹一億二千十六万円、浦幌二千五百三十万円、豊頃千二百五十三万円、陸別七千六百二十二万円、忠類四千八十八万円―となっている。

交付金は二分の一まで個人支給が可能で、残りは集落ごとの「共同取り組み」に活用される。農家看板の整備、農村景観対策（廃屋、廃止サイロの撤去）、エゾシカ防護柵の広がりなどに活用される。

＜中山間地域直接支払＞　地域振興八法（過疎法など）の指定市町村を対象に、「急傾斜」「不整形水田」「草地率七〇％以上」「積算温度三〇〇度未満」など、営農不利地の農家（集落単位）に交付金を支払う。

……

さく、コントラクター（農作業受委託会社）の整備、営農用水の管理などに活用される。

国と道の負担分については、三月十九日に足寄、大樹、豊頃、同三十日に浦幌、陸別、忠類に支給された。なお広尾も今年度に対象地域の指定を受ける方向で検討している。

（能勢雄太郎）

## 「次の経済対策必要」

### 中川氏政経セミナー　亀井静香氏が講演

講演する亀井氏

自民党政務調査会長の亀井静香氏は、一日午後、帯広市民文化ホールで開かれた中川昭一氏の政経セミナーで講演した。

「（日本経済の）事態は深刻。夏に向かって三の矢、四の矢と次から次に放っていく」と述べ、四日に政府が具体化する緊急経済対策に引き続き、新たな経済対策を講じる必要性を強調した。（2面に関連記事）

自民党総裁選で注目される亀井氏だが、この日は具体的に触れることはなく、江藤・亀井派の事務総長を務める中川氏について「（派閥が）一糸乱れない状況になっているのは昭一代議士のおかげ。どうしたことを経て、お父さん（故・一郎氏）が果たせなかった総理総裁になれる」と期待を述べた。

また、帯広空港の国際化についても「道東が世界の玄関口として整備されるのは当たり前、今後とも具体的なことを推進させる」とした。

セミナーに先立ち、亀井氏は市町村の陳情会に出席。道横断自動車道整備について「国土幹線道路整備審議会を開き、優先順位をつけて必要なものは前倒しで積極的に進める」と語った。

（児玉匡史）



## 友達たくさんできるかな？

### 市内保育所で入所式

帯広市内の各保育所・園で二日、入所式が開かれた。親に手を引かれた子供たちは、少し緊張した顔を見せながら、たくさんの友達が待つ保育所の門をくぐった。

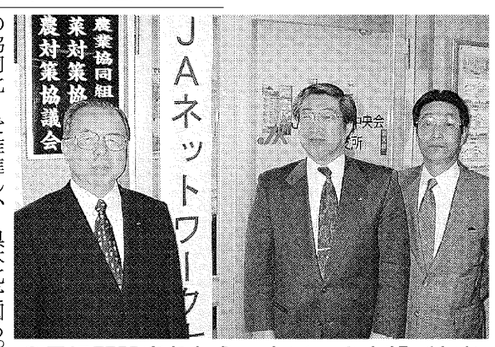
市保健福祉部児童家庭課によると、新規に入所した子供は六百四十六人。同日は、公立十七、夜間一、私立九の市内二十七保育所・園すべてで入所式が開かれた。

市内東一南二三の南保育所（竹内眞理所長、八十六人）では同日午前九時半から、入所児二十人を迎えて入所式が開かれた。初めに竹内所長が「みんなが早く来ないかなと待っていました」と歓迎のあいさつ。続いて在所児たちが「みんなで仲良く遊ぼうね」と声かけし、元気な歌声をプレゼントした。

（岩谷真宏）

## ＪＡネットの事務所を開設

### 中央会帯広支所内



２日に開設されたネットワーク本部（左から有塚本部長、事務局長の西埜裕司・ＪＡ道中央会帯広支所長、事務局次長の佐藤文俊・十勝農協連参事）

「ＪＡネットワーク十勝」（有塚利宣本部長）の本部事務所が二日、帯広市の十勝農協連ビル四階、ＪＡ北海道中央会帯広支所内に開設された。

同ネットワークは管内二十五ＪＡと十勝農協連、連合会組織（ホクレン、ＪＡ道中央会など）で構成。①各ＪＡの財務健全化②ＪＡ事業、施設の協同化―を推進し、「十勝一ＪＡ」体制への基盤づくりを進める。

事務局はＪＡ道中央会帯広支所が担当、参事クラスの専門委員会とワーキンググループが事業の具体化を図る。有塚本部長は「十勝農業の新時代に向かっての取り組みが始まった。二十六の会員と管内全組合員の心を一つにしていきたい」と話していた。（能勢雄太郎）


確かな技術で信頼に応える。
良質めがね専門店
水晶堂
本　店/市内西3南9☎27-1234
藤丸店/市内西2南8☎27-2804
白樺店/市内西2南3☎36-2223
ヨーカドー店/ヨーカドー帯広店2F ☎49-2533


**3日の天気**

晴れ

（帯広市）詳報は最終面

**本日の紙面**


景況感、9期ぶりに悪化　＜4面＞
音更に子育て支援センター　＜21面＞
介護保険スタートから1年　＜22面 24 25面＞
らいふ・健康



購読のお申し込みはフリーダイヤル
0120-25-3999
www.tokachi.co.jp/hanbai/
紙面へのご意見・ご要望は
読者センター 22-2121
WEB TOKACHI
www.tokachi.co.jp/
インターネットナンバー 2121



発行所
十勝毎日新聞社


©十勝毎日新聞社 2001


〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
事業局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299
広尾支局 01558-2-4111
池田支局 01557-2-2367
本別支局 01562-2-2618
新得支局 01566-4-5524
札幌支社 011-261-2161
東京支社 03-3544-1365


## 魅力の町村宅地

### 編集余録

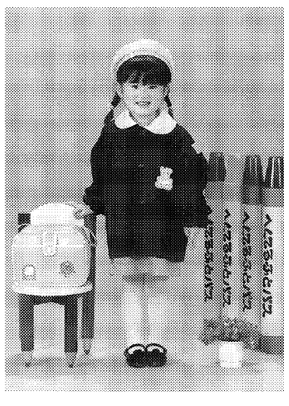
人口減に悩む管内町村の定住対策の定番は宅地造成▼新得町の屈足旭町団地は一九九九年に分譲され、坪（三・三平方㍍）当たり五千円台の低価格、札幌に近い新得の地の利、緑が多い農村集落の良さが受け、道内外から申し込みが殺到。昨年の二次造成分も完売。人口減に歯止めをかける一因になった。町は新年度、本町に宅地造成し、三匹目のドジョウを狙う▼一九八八年から帯広の通勤圏の中士幌地区で宅地造成してきた士幌町は、今年秋に「みのり野団地」を売り出す。坪二万七千円の価格が魅力。百二十五坪から百四十五坪のゆったりした区画割り。家庭菜園、ガーデニングの趣味に事欠かない広さで、帯広圏の宅地と差別化している▼上下水道、区画道路などを整備すれば、元の土地代がただでも、このぐらいの価格になる。屈足は完全に原価割れだが、うまく補助事業を導入している。住宅が張り付いた場合の固定資産税などの経済効果とともに、なにより「新しい人」の流入で地域に活力が生まれる▼マイホーム建設のため優良宅地を求める年齢層は町村にも確実に存在する。リタイア後は広々とした敷地のある家で暮らしたい人たちも増えている。売れないリスクはあるけれど、ニーズにこたえた宅地政策の着実な推進は、まちづくりに不可欠▼宅地造成とともに注目している定住政策がある。清水町が始める空き地、空き家の情報提供事業」。情報提供だけでなく、その後のコーディネートがうまく機能すれば、インフラ整備の進んだ既存市街地を有効活用できる。政策コストがそれほどかからないのもいい。（高橋幸彦）


内閣総理大臣名の書状などを贈呈しております。
●引揚者の方々に書状を贈呈しています。
（請求期限が2年間延長され、平成15年3月末までとなりました）
●恩給欠格者の方々に書状・銀杯などを贈呈しています。
（ご遺族の方も対象となります）
＊請求書類は各市区町村の福祉関係の担当課に用意してあります。
資格要件・請求方法などのお問合せ先
TEL 0120-234-933（フリーダイヤル）
〒163-0231 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル31階
総務省認可法人 平和祈念事業特別基金

しんくみ 教育ローン ご家族の未来 応援します
最優遇金利で！ 2.70%
（最高300万円・最長10年のお支払い）
詳しくは窓口へお問い合わせ下さい
あなたのくらしのパートナー
十勝しんくみ 十勝信用組合

MUTOU　雪の日も雨の日も安心屋内駐車場（内・外30台完備）　今、話題のビデオシステム導入（TV画面12台）　自由にTVで選べる写真館

ご入学、ご入園 ご進学、お祝い キャンペーン。
4月30日㈪まで



1ポーズ3枚仕上げ（台紙付）
または
1ポーズ2枚+1枚額皿
※両、写真は撮影されたのと同じ写真3枚に限ります。
7,000円（税別）より
撮影技術料も含む、※1ポーズ1枚のご注文もお受けしております。
小学生撮影衣裳全て無料　学生服・スーツ・セーラー服・ワンピース・ランドセル・靴・帽子 全て無料でお貸し致します。

〈十三参り〉1組2枚
知恵もらいともよび、4月13日までに数え年13歳になった女子が正装して参詣する習わしです。
4月末迄は、お着物、着付けも無料で致しております。【要予約】

さらに
4月1日～15日まで
特殊スクリーン撮影
手札ペーパーフレーム1枚をプレゼント。

※お一人様で撮影された方に限ります。（幼・小・中・高・大学生）

“赤ちゃん”
とってもかわいい
プチ天使写真プレゼント。

※キャビネ判ペーパーフレーム1枚※百日お一人撮影された方に限ります。
1ポーズ1枚 ￥4,500～ ※撮影料・技術料等は含まれております。(8切判)（税別）
1組2枚 ＋ 1枚サービス ＝3枚（同じ写真）
●男女百日のお衣裳を取り揃えています。(無料)●顔のアトピー・キズ・アザのあるお子様はご相談下さい。

フォトブライダル
（衣裳・着付・ヘアメイク）
お写真2ポーズ（各1）付
48,000円より（税別）
モニターで表情を選べます。

●ご予約ダイヤル ☎23-7814

●営業写真コンテスト入賞●NCカード店
むとう写真館
帯広市東10条南5丁目（国道38号線沿）☎代23-7814
水光園西隣
●営業時間/AM9:00～PM6:00　●定休日/毎週木曜日
4月5日㈭休まず営業いたします。

# 音更町長に山口氏再選

万歳で再選を喜ぶ山口氏と恵子夫人。右端は小田中刻夷中札内村長（１日午後10時半すぎ）

## 市川氏に１万票の大差
## 超党派、幅広い層から支持

【音更】任期満了に伴う音更町長選挙は一日、投開票が行われ、現職の山口武敏氏（六一）＝無所属＝が一万四千六百五十一票を獲得、新人で英語塾経営の市川好裕氏（五四）＝同＝に一万八百二十五票の大差をつけ圧勝、再選を果たした。

山口氏は民主党音更、佐々木恵美子道議後援会、連合音更、道商工政治連盟音更支部の推薦を得たほか、共産党と一部保守系議員を除く二十一人の町議が支援する会を立ち上げるなど超党派の支援体制を構築。全町的に組織された四十四の地区後援会が中心となり、キメ細かな運動を展開した。

選挙期間中は、自ら策定にかかわった第四期総合計画を基本に、「町民とのパートナーシップによるまちづくり」を強調。十勝川温泉観光を含めた産業基盤の強化と企業誘致による雇用創出が財政健全化につながると訴え、幅広い層に受け入れられた。

前回選挙で山口氏と激しく戦い、約九千六百票を獲得した佐藤英氏＝現町議＝支持票の行方も注目されたが、堅実な行政手腕への評価から、一部取り込みに成功、前回票（一万五百三十四票）の上積みを果たした。

市川氏は、日本共産党音更町委員会らで組織する「住みよい音更町をつくる会」の要請を受け、二月一日に出馬表明。借金増に伴う財政問題や公共事業優先の現町政を厳しく批判、福祉や教育、くらし重視の独自の政策を訴え、前回の得地三郎票を倍増させたが、無党派・保守層への大きな支持の広がりを得るまでには至らなかった。

両陣営とも、居住して間もない若い世代の「新住民」や帯広で働く「音更市民」などへの対策に苦慮、戦前から投票率の低下が懸念されるなど、都市型選挙の色合いが一層際だった。

### 投票率　戦後最低の60・83％

投票率は六〇・八三％で、四年前の前回（七四・五八％）を一三・七五ポイント下回り、戦後最低だった一九四七年の六九・四八％を〝更新〟した。男女別では男性が六〇・三七％、女性が六一・二四％。

当日の有権者数は三万八百四十人、投票者は一万八千七百六十人。有効投票数は一万八千四百七十七票で、無効票二百八十一票のうち白票が百四十七票、持ち帰りが二票あった。

### 解説　堅実な手腕を評価
#### 行革など懸案事項も

人口四万人を抱える道内最大町・音更。町民は地方分権で自治体の力量が問われる二十一世紀のまちづくりの舵（かじ）取りを山口氏に再び託し、堅実な行政手腕によるリーダーシップに期待を寄せた。

山口氏は一期四年間で住民要望が高かった図書館や温水プールを建設、昨年は開町百年記念事業や第四期総合計画の策定、ＩＣ工業団地造成、コミュニティバス運行など将来のまちづくりへの布石を次々と打ち、年末には人口四万人を達成。これらの実績と分け隔てのない庶民的な人柄が町民各層に評価された結果といえる。

当初は「無投票」の観測から後援会の動きが鈍かったが、市川氏が出馬表明してからは次第に活発化。前回出馬した佐藤英氏の地盤・鈴蘭地区に新たな後援会が発足するなど町内全域に組織された四十四の地区後援会が運動をけん引し、幅広い支持の輪を広げた。

ただ、町民意識の底流には「今回は山口の信任投票。結果は見えた選挙」との〝シラケムード〟があり、投票率は大幅に低下。陣営では「最低でも有権者の過半数を取らなければ信任されたと言えない」と話しており、手放しで喜べる結果とは言い難い。

超党派の町議二十一人の支持も得て、二期目も強固な与党体制を構築した山口氏だが、国保診療所、町営保育所、サイクリングターミナルなどの行革、市街化区域見直しに伴う十勝川温泉地区の活性化、国立十勝療養所問題など懸案事項も少なくない。

投票率低下で露呈した町政無関心層をまちづくりの表舞台に取り込み、政治理念として訴えた「町民とのパートナーシップ」をどう具体化するかも課題。また、管内最大町の首長として、北十勝四町、帯広圏など広域連携の分野でどうリーダーシップを発揮していくか。手腕と真価が問われることになりそうだ。

（鈴木裕之）

## 「４万町民のために全力」
### 喜びの山口氏

山口氏の選対本部（木野大通西六）には、開票速報で票差がついた同五十五分、山口氏が開始の午後九時過ぎから、続々と管内市町村長や支持者が詰め掛け、和やかに談笑しながら勝利の瞬間を待った。

開票速報で票差がついた同五十五分、山口氏が恵子夫人とともに入場すると、一斉に拍手が起こった。次の速報で得票が一万四千三百票と発表されると、場内に再び拍手と歓声が沸いた。

塚本勧選対本部長が勝利宣言を兼ねてあいさつ。山口氏は「みなさんの汗の結晶で勝利できた。投票率六〇％強というのは、町民に向けた訴えがまだまだ少なかったと反省している。これからはまちづくりに、そして音更町発展のため、四万町民の幸せと豊かさを求めて目いっぱい働いていきたい」と抱負を述べた。

**「支援してくれた人の思い大切に」**
**市川氏**

市川氏の選対本部（木野大通西九）に詰め掛けた支持者は、得票差が一万票に広がると一瞬静まりかえった。市川氏は「今まで支援してくれた人の思いを大切に、住みよい音更町をつくる会の一員として、これからも頑張りたい」と述べ、真田健男選対本部長は「町民の要望を実現するため引き続き活動を強化したい」と話した。

**やまぐち・たけとし**　一九四〇年、本別町勇足生まれ。帯広柏葉高校定時制卒。六一年四月音更町役場入り。広報広聴課長、企画課長、市街地開発推進室長、振興部長を経て、九七年四月の町長選に立候補、初当選。

十勝毎日新聞
発行所
十勝毎日新聞社
©十勝毎日新聞社 2001
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
事業局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299
広尾支局 01558-2-4111
池田支局 01557-2-2367
本別支局 01562-2-2618
新得支局 01566-4-5524
札幌支社 011-261-2161
東京支社 03-3544-1365

**選挙号外**

**開票結果**

当　一四、六五一　山口武敏　61　無現
三、八二六　市川好裕　54　無新

当日有権者　30,840
投票総数18,760
有効投票18,477
無効票など　283
投票率　60.83％